

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名 : グループホームさくらんぼ

施設種類 : 認知症対応型共同生活介護

利用者代表	0人	有識者	0人
利用者家族	1人	高齢者あんしん支援センター	0人
地域住民の代表	1人	出雲市職員	1人
その他[管理者・介護職員 0名]			1人

グループホームさくらんぼについて

(議題)

1. 前回の会議[令和 5年 1月]以降の入退所状況について
2. 最近のグループホームでの状況
3. 出席者からのご意見

1 グループホームの入退所状況について

- ・ 1月以降の入退所状況
入退所者はありません。
- ・ 入院者—3月16日胆石により入院中

入居者	男女比		要介護度					平均年齢
18名	男性	女性	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	87歳
	4名	14名	5名	6名	3名	3名	1名	

待機者4名

2. 最近の活動状況

- ・ 新型コロナウイルス対策としては下記の通りこれまでと変わりなしである。
- ・ 外出自粛、これまで毎月実施してきた外食、喫茶は継続し中止のみである
- ・ 直接の面会もすべて中止。ご家族様には了解のもと実施しており、希望あれば各

利用者の居室もしくは正面玄関にて施錠し窓、戸を隔ててお会いしていただき、元気な姿、お顔を見ていただきながら会話をさせていただいている。

- ・ 苑内行事
- ・ 各利用者の誕生日の日に誕生会実施

- ・ 面会及び外出の緩和について

5月8日の第5類への意向を機に面会方法、及び外出の緩和などについて検討していこうかと考えています。具体案として面会方法を直接面会に移行し、但し一回の面会時間を20分以内など制限時間を設ける、一回の面会人数、面会者についてもどこまで関係性ある方を受け入れ可能とするか、例えば3親等以内など・・・

ご家族様依頼による外出についても検討が必要かと考えている。それについても外出時間、外出先等制限が必要になってくると考えています。

いずれにしてもご家族様のご意見もまずはお聴きし、ご家族様にも納得の上での外出、外食の実施が必要になってくるのではと考えています

ご家族によっては、外泊の希望者もいらっしゃる、コロナ感染防止に対する考え方もさまざまであると感じています。

ご家族様のご意見を個々に聞き取りさせて頂き、そのうえで検討が必要だと考えています。

苑としての外出については、今後は近隣への歩行による散歩のみでなく、感染防止も考えつつ外食、屋外への車での外出（これまでのように空港公園、荒神谷公園等）や花見など少しずつ企画していきたいと考えている。

3. 出席者からのご意見

- ・ ご家族様より

義理母がこちらに入所し一年半が経過した。よく電話があるが、良くしてもらっていると話している。

今後の面会や外出の緩和については、私はまだ早いと思っています。現状このままで、長い目で先を見ていていただきたい。外出、外食についても同様であると考えます。マスク着用も本人の自由になったが、変わらず着用が必要だと思っています。

- ・ 地域代表・民生委員様より

私はデイサービス事業所に定期的に毎週定期的に利用者さんのお世話に行って

います。そこでも、最近では外部からのボランティアさんによる受け入れも少しずつですが再開されています。外出をされるとすれば、外出場所なども大事になったのではないかと感じました。

そのデイサービス先でも、コロナ感染された利用者のご家族さんから、他の利用者から感染させられたと苦情を言われたことがありました。ご家族様のご意見も重要だと思います。

出雲市役所・高齢者福祉課様より

・コロナ対策については、他の施設では少しずつ外出、面会方法が緩和されている施設もあります。ボランティアさんの受け入れについても同様です。

・地域の方々との交流についてはどうでしょうか？

回答→コロナ感染対策実施前には、地域の方を招いて認知症勉強会を2回実施しました。地域の高齢者の方を対象に旧ダイルームを開放し使用していただく事を計画していたがコロナ感染流行により進んでいない状況です。地域に発信する広報は各利用者に配慮して現在は発行していません。過去数回は発行しています。これについては外部評価での評価委員さんよりご意見をいただき検討した結果、プライバシーの問題を挙げられ、検討した結果辞めております。現在の広報的なものとしては、毎月各ご家族様に各ご利用者様用に写真入りの報告書を作成し送っています。